

Point

J R 東海 大阪修繕車両所分会分会情報

No. 78 2010. 10. 31.

発行責任者 坂東 貞男

編集責任者 教 宣 部

シリーズ『リニア中央新幹線ってどうなの?』⑨

中央新幹線に関するパブリックコメントが公表される

先月29日、国土交通省鉄道局が「中央新幹線に関するパブリックコメント」の結果を公表しました。

結果は、提出された意見が793件(個人669件、団体124件)で、リニア中央新幹線建設に賛成の意見が多かったですが、反対意見も少数ながらありました。特徴としては、リニア中央新幹線で利便性の増す地元の長野県が最も多く、次に多かった静岡県と合わせると全体の9割をしめており、内容的には「ルートに関する意見」「駅の設置に関する意見」が多くありました。

建設賛成の意見として「東海道新幹線の経年劣化問題」「東海地震等の災害リスク回避」「地域活性化」「建設による経済効果・雇用確保」等々がある中「全国新幹線鉄道整備法に基づく事業であり国家的事業」「国家的事業を一企業の都合で行うことは不適切」「公共交通網整備を成功させるには国による財政面等の関与が必要」とJR東海一企業が建設することに疑問の意見もありました。

反対意見として「時間短縮の必要性に疑問」「IT技術の進歩により移動の必要性低下」「JR東海の長期債務の完済計画が明確でなく、経営破綻の恐れ」「電磁波・環境問題」「建設ルートの構造線の大断層の問題」「超電導リニアの過剰なエネルギー消費」等々がありました。

事実上ルート選定が結着、 私たちの将来は大丈夫か!?

先日、国土交通相の諮問機関である交通政策審議会の中央新幹線小委員会が「南アルプスルート」が費用対効果の面で優位との試算を報告すると報道され、事実上ルート選定が結着する見通しとなり、いよいよ建設が現実味を帯びてきました。

私たちは、JR東海の社員であっても、なかなか中央リニア新幹線建設について身近に考えることがないのが現実ですが、私たちの将来を考えると膨大な借金で建設する中央リニア新幹線がどういうものか、本当に採算がとれるのか、長期債務で会社の財政は大丈夫なのか、安全・環境面は大丈夫なのか、等々を考えていく必要があるのではないのでしょうか。